

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生物多様性地域戦略推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の多様な自然環境、市民	意図	市内における生物多様性の保全と持続可能な利用。
事業内容	「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、重点拠点のモニタリング調査を行うとともに、グリーンフェスティバル等で生物多様性の大切さについて啓発を行う。平成26年度は、「グリーンウェイブ」で公共施設に植樹を行ったほか、一般社団法人千葉県トラック協会の支援を受け、おたかの森スポーツフィールドに188本の植樹を行った。また、動植物のモニタリング結果を「モニタリング調査結果報告書」として取りまとめた。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年5月に生物多様性基本法が成立。この法律に基づき平成22年3月に本市独自の「生物多様性ながれやま戦略」（50年戦略）を策定。 生物多様性に関する情報公開の場としてシンポジウム等を開催。 平成23年7月から基盤情報整備の為のモニタリング調査を実施。このモニタリング調査は平成26年9月末で一旦の終了を迎え、モニタリング実施結果報告書を作成。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	生物多様性の意味を理解している割合	22.50			
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	生物多様性情報の共有・蓄積、市民活動団体等との連携。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、重点拠点のモニタリング調査を行うとともに、グリーンフェスティバル等で生物多様性の大切さについて啓発を行う。平成26年度は、「グリーンウェイブ」で公共施設に植樹を行ったほか、一般社団法人千葉県トラック協会の支援を受け、おたかの森スポーツフィールドに188本の植樹を行った。また、これまで動植物のモニタリング結果についてとりまとめたモニタリング調査結果を報告書を作成した。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,439,647	5,888,238	5,936,279			
事業費(b)(円)		7,132,847	1,696,038	1,790,719			
うち一般財源		7,132,847	1,696,038	1,790,719			
職員給与費(c)(円)		4,306,800	4,192,200	4,145,560			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	モニタリング調査によって得られた情報をまとめ、以降の戦略推進に繋げる。また、市民団体との連絡を密に行い、一層の普及に向けた協力体制を構築する。	③取り組みの課題	戦略の見直しを見据えた課題の抽出及びモニタリング調査地の拡大。
②今年度(H26)に実施した取り組み	モニタリング調査によって得られた情報をまとめ、モニタリング実施結果報告書を作成。また、市民団体と協力し、「流山カントリーウォーク」を初めて開催。	④今後の改善計画	東部・南部地区へのモニタリング調査地の拡大。